

目 次

I . 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1 . 南紀熊野サテライトの紹介	1
2 . 2つの受講制度	2
3 . 受講モデル	4
II . 大学院科目等履修生の募集	5
1 . 出願および履修願の手続き	5
2 . 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	7
㊧履歴書	8
㊨令和元年度後期検定料の納入について	9
㊩履修願	10
III . 学部開放授業受講者の募集	11
1 . 登録および申請の手続き	11
2 . 登録書類等	
㊪学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書	13
㊫学部開放授業聴講申請書	14
㊬令和元年度後期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について	15
㊭学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV . 令和元年度後期 南紀熊野サテライト開講授業	16
1 . 大学院授業科目	16
2 . 学部授業科目	18

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト（設置当時は紀南サテライト）を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「世界農業遺産」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」（※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」）があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。令和元年度後期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」をご利用ください。 詳細は和歌山大学ホームページをご覧ください。 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai/koudai_h31.html
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 28,800円（1科目・2単位につき）	登録料 7,000円 聴講料 10,000円（1科目）
受講期間	入学後の連続する4学期（2年）間は履修申請が可能	登録後8学期（4年）の聴講申請が可能
修士課程への進学	社会人特別入試（南紀熊野サテライト）を経て、経済学研究科修士課程に進学することができます。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、金曜日夜間および土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、1科目につき2単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

【履修可能期間】

- 入学後の連続する4学期(2年)間は履修が可能です。この場合、所定の履修願による手続きが必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

- 本研究科修士課程社会人特別入試の出願資格を満たし、南紀熊野サテライト科目等履修生として1年以上在学の上、6科目12単位以上を取得すると、社会人特別入試(南紀熊野サテライト)に出願することができます。出願資格や入学試験などの詳細は、「社会人特別入試(南紀熊野サテライト)修士課程学生募集要項」をご覧ください。

○既修得単位認定制度

本学大学院経済学研究科修士課程の修了には30単位(専門研究・修士論文8単位を含む)が必要です。南紀熊野サテライトの科目等履修生が社会人特別入試(南紀熊野サテライト)を経て本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として修了に必要な単位数に算入できます。これにより、標準的には修了まで2年を要する修士課程を1年で修了し、修士(経済学)の学位を取得できます。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

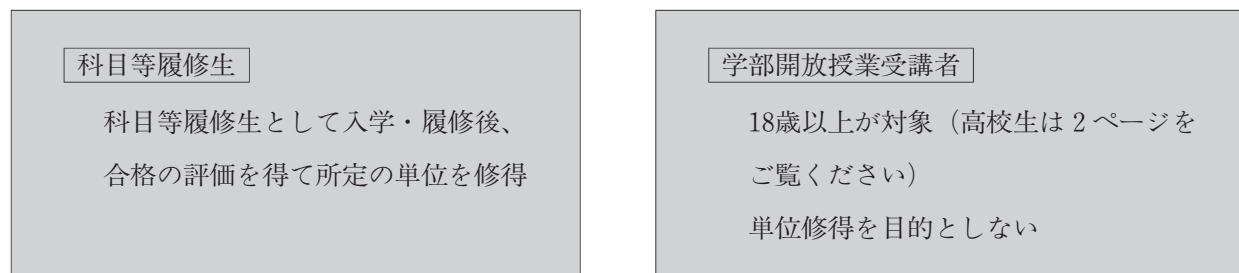
- 学部開放授業(教養科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される学部開放授業についても、聴講申請のうえ、受講することができます。

【受講可能期間】

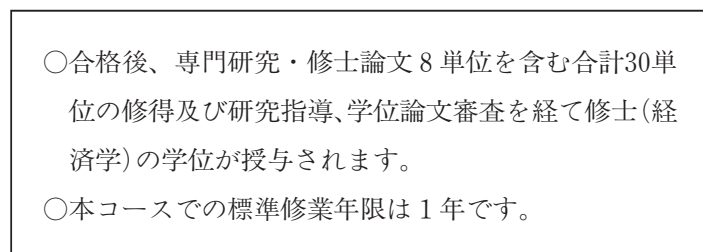
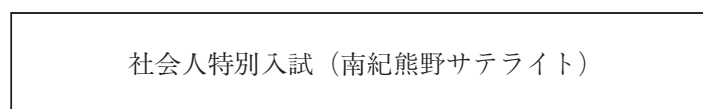
- 受講者登録の有効期間は4年間です。登録後の連続する8学期間は、科目ごとの聴講料のみで受講できます。

3. 受講モデル

①自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



②さらに大学院経済学研究科修士課程に進み、修士(経済学)の学位取得をめざす人



■大学院へのステップ

南紀熊野サテライトで大学院科目等履修生として単位を修得した受講生の中から、大学院修士課程に進学され、修士(経済学)の学位を取得された方がいらっしゃいます。



II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、16ページ以降をご参照ください。

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和元年 8月19日(月)～ 8月30日(金)(必着)

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

【新規に出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㊟)

振込依頼書(用紙㊟)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㊠)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送出来るよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方(既に有効期限が切れている方)が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

【現在、科目等履修生である方】

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

- 「履修願」(用紙⑤)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

- 返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送出来るよう必要な額の切手を貼ってください。

B. 有効期限が2019年9月30日の方

有効期限が2019年9月30日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本については、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和元年9月13日(金)～9月18日(水)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 28,800円(1科目・2単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名 _____ ㊦

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科目名	単位数
<input type="checkbox"/>	メディアと情報技術を活用したデザイン概論	2
<input type="checkbox"/>	グローバリゼーションの歴史と現状	2

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和元年10月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名	男 ・ 女 [㊞]		写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -)		TEL.() -
日常の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -)		TEL.() - E-mail.
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

令和元年度後期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

C 票 振込金受付証明書

令和元年度後期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和元年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
		振込手数料	円	

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り取って、金融機関にお出しください。

A 票 振込依頼書

令和元年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	円
受取人	紀陽銀行	紀の川支店(普)		0766935	金額	5,000円
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				内	現金
整理番号	5	6	1		取	
フリガナ					納	
志願者氏名					印	
住所					電話番号()	

* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

(取扱店保存)

履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 _____

氏 名 _____ ㊦

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	メディアと情報技術を活用したデザイン概論	2
<input type="checkbox"/>	グローバリゼーションの歴史と現状	2

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2019年9月30日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限 (西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

1. 登録および申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

「春夏秋冬の哲学」～日本近代名作随筆講義～

(30名程度) 先着順…田辺市会場(和歌山県情報交流センターBig・u)

「地域暮らしの法律学C」～映画やTV番組を使って医療事故を考える～

(30名程度) 先着順…田辺市会場(和歌山県情報交流センターBig・u)

「世界農業遺産」

(15名～20名程度) 先着順…田辺市会場(和歌山県情報交流センターBig・u)他、現地調査有り

「熊野郷土学2B」～郷土学からの地域振興～

(30名程度)…新宮市会場(新宮信用金庫5階会議室)

※お問い合わせは会場ではなく次頁問い合わせ先(和歌山大学南紀熊野サテライト)迄お願いします。

登録および申請期間・方法

令和元年8月20日(火)～9月12日(木)(必着)

(※定員に満たない場合、追加募集をおこなうことがあります)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、9月12日(木)に限り、10時から17時まで受け付けます。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(8月20日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて登録される方 2. 登録の有効期限が2019年9月30日以前の方	2019年10月1日現在、登録有効期間中の方																
<p><input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書 (用紙㊶)</p> <p><input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・登録料 7,000円 ・聴講料 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="font-size: 2em;">{</td><td>10,000円 (1科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>20,000円 (2科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>30,000円 (3科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>40,000円 (4科目の場合)</td></tr> </table> </p> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊷)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊶の所定の位置に貼付してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊸</p> <p>郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 <u>※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</u> <u>※10月より郵便料金が改訂されます。ご注意ください。</u></p>	{	10,000円 (1科目の場合)		20,000円 (2科目の場合)		30,000円 (3科目の場合)		40,000円 (4科目の場合)	<p><input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊷)</p> <p><input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・聴講料 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="font-size: 2em;">{</td><td>10,000円 (1科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>20,000円 (2科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>30,000円 (3科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>40,000円 (4科目の場合)</td></tr> </table> </p> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊷)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊷の所定の位置に貼付してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊸</p> <p>郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 <u>※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</u> <u>※10月より郵便料金が改訂されます。ご注意ください。</u></p>	{	10,000円 (1科目の場合)		20,000円 (2科目の場合)		30,000円 (3科目の場合)		40,000円 (4科目の場合)
{	10,000円 (1科目の場合)																
	20,000円 (2科目の場合)																
	30,000円 (3科目の場合)																
	40,000円 (4科目の場合)																
{	10,000円 (1科目の場合)																
	20,000円 (2科目の場合)																
	30,000円 (3科目の場合)																
	40,000円 (4科目の場合)																

[参考] 登録料…聴講を希望する方は、学部開放授業受講者の登録(7,000円)が必要となります。

1回の登録で4年間(連続する8学期間)の聴講申請が可能です。

聴講料…授業料にかかわるものです。1科目につき10,000円です。

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。
和歌山大学ホームページよりご確認ください。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(9月12日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄
(3×4cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏名 _____ ㊦
生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日(男・女)
現住所(〒 _____)
_____ 職業 _____
電話番号(_____) _____ 職業 _____
携帯電話番号 _____
E-mail _____

保護者(※申請者が未成年の場合に必要な)

氏名 _____ ㊦
申請者との続柄(_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、開放授業受講者の登録及び聴講を申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	春夏秋冬の哲学
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの法律学C
<input type="checkbox"/>	世界農業遺産
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学2B

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

- 1科目 17,000円
- 2科目 27,000円
- 3科目 37,000円
- 4科目 47,000円

新規聴講者
振込金受付証明書
貼り付け欄

以下、大学記入欄

学生番号: _____
発行年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
有効期限: _____ 年 _____ 月 _____ 日

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏 名 _____ ㊦

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏 名 _____ ㊦

申請者との続柄 (_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	春夏秋冬の哲学
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの法律学C
<input type="checkbox"/>	世界農業遺産
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学2B

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

- 1 科目 10,000円
- 2 科目 20,000円
- 3 科目 30,000円
- 4 科目 40,000円

登録期間中の聴講者
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

令和元年度後期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙②)での申請は登録料7,000円＋聴講料10,000円(1科目につき)の計17,000円(2科目の場合は計27,000円)となります。
更新受講申請者(用紙③)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)の計10,000円(2科目の場合は計20,000円)となります。

- ①この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。
※ゆうちょ銀行からは振込みできません。
※ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。
※振込手数料は、依頼人負担となります。
- ②「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。
- ③「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。
- ④「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、登録料と聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

④

切り取って、金融機関にお出しくください。

C票 振込金受付証明書 令和元年度後期登録料・聴講料 (申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和元年度後期登録料・聴講料

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
受講者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

令和元年度後期登録料・聴講料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店(普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	69			
フリガナ				
受講者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	円			
内訳	現金			
取	円			

取納印

(取扱店保存)

*金融機関へのお願い

1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しくください。

金融機関で切り離してください。

手数料ご依頼人負担

IV. 令和元年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	メディアと情報技術を活用したデザイン概論 (Design Theory enhanced with media and information technology)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	鯨坂 恒夫、原田 利宣、床井 浩平、曾我 真人、川角 典弘		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	10月26日(土) 10:30~16:00	担当：(原田 利宣)	
	11月2日(土) 10:30~16:00	担当：(川角 典弘)	
	11月16日(土) 10:30~16:00	担当：(鯨坂 恒夫)	
	11月23日(土) 10:30~16:00	担当：(床井 浩平)	
	11月30日(土) 10:30~16:00	担当：(曾我 真人)	

【授業のねらい・概要】

情報技術に支えられた現代社会では、誰もがPCやスマホを使ったコミュニケーションやコラボレーションが可能になってきた。これらの技術やメディアの特性を理解し、適切に使いこなしていくことは現代人の必須リテラシーとなっている。この講義では、地域の問題や社会の様々なニーズを主体的に解決するメディア表現や情報技術の利用について、俯瞰的に概観しながらデザインと社会の関係や情報技術の適用される範囲とその影響について理解することを目的とする。

【授業計画】

第1回「ヒトの感性(知覚、認知、認識)とデザイン」

感性工学とは、「感性と工学とを結びつける技術であり、人間の感性を分析しそれを商品の設計に取り込むことにより、人に喜びと満足をもたらす商品作りを工学的に行う分野」のことである。授業では、感性工学の側面からデザインはどのようにとらえることができるのか講義するとともに、演習によりそれを確かめることを目的としている。

第2回「景観色彩と街並みのデザイン」

地域活性化やまちづくりにおいて、適切な地域景観とは何かを検証し、住民が主体的に評価できる仕組みが必要である。特に景観色彩の調査や地域イメージの分析を行う上で、デジタルメディアの果たす役割やその効果について、事例を交えながら解説する。

第3回「情報技術のゆくえ」

情報化社会といわれて久しいが、2010年代半ばより機械学習型の人工知能が新たな展開をもたらしている。この人工知能は有用な結果を与えるのだが、なぜその結果になるのか、人間には理由がわからない。人間と人工知能が言語による意味づけを共有していないからである。意味とは何かを追求しながら、人と機械がうまく協働する方策について考える。

第4回「バーチャルリアリティ技術と体験の共有」

視覚や聴覚などの人間の感覚に対して人工的な刺激を与えることにより現実と実質的に同じ環境を再現するバーチャルリアリティ技術は、人が単独で仮想空間に没入するだけでなく、複数の人が仮想空間上でコミュニケーションし、体験を共有することを可能にしている。この授業ではバーチャルリアリティ技術を構成する要素と、それにもとづいた存在感の再生と体験の共有について解説する。

第5回「ヒューマンコンピュータインタラクションの基礎理論とスキル学習支援への応用」

ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)は、人間とコンピュータのやりとりを科学する学問である。一般に、人間は、外界にある対象物や現象を、①知覚・認識し、②判断(認識結果から最適な行動を選択)し、③行動を実行する。そして、この①②③のインタラクションのサイクルを繰り返し、モノづくりにおいては、成果物を作り上げる。授業ではHCIの基礎理論として、3つの理論を紹介した後、HCIの応用として、絵画描画、楽器演奏、スポーツなどのスキルの学習を支援するシステムの紹介を行う。

【到達目標】

現代社会の諸問題の解決には、縦割りの専門知識だけでなく、メディア表現や情報技術を広く活用した多角的な視点が要求される。到達目標として、課題解決に向けた適切な情報技術の選択が行えること、それらの技術を使った数理的な分析や評価が行えること、新しい技術の役割や価値を理解した上で、適切なメディア表現やプレゼンテーションを第三者にわかりやすく伝えられることとする。

【教科書】

なし。必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

なし。必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価方法】

各週で小テストまたはレポート、簡単な実習を課す。その合計の評価で判定する。

【授業時間外学修】

学んだ概念や仕組みについて、復習と自主的な学習が必要となる。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成するが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めること。

【履修する上で必要な事項】

講義に加えて、ノートPCを使った実習や調査・分析などをグループワーク形式で取り組むアクティブラーニングも行う。専門的スキルは要しないが、一般的にPCを使いこなすリテラシーは必要となる。

授業科目名 (英文表記)	グローバル化の歴史と現状 (Past and Present of Globalization)		
単位数	2	授業形態	演習
担当教員	今田 秀作		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	12月6日(金) 18:30~20:50	1月11日(土) 10:00~16:00	
	12月7日(土) 10:00~16:00	1月24日(金) 18:30~20:50	
	1月10日(金) 18:30~20:50	1月25日(土) 10:00~16:00	

【授業のねらい・概要】

過去数十年に亘り、グローバル化と呼ばれる現象が急速に進行し、社会の様々な側面に大きな影響を与えてきました。それは国や地域の姿を変えつつ、個人個人の生活の分野にまで強いインパクトをもたらしました。他方で近年では、グローバル化に伴う弊害を指摘する声も現れ、それが社会的格差拡大の要因であるとか、あるいはナショナリズムやポピュリズムといった政治的潮流を生み出す背景となったと言われることもあります。今の時期は、グローバル化について冷静に考えてみる好機なのかもしれません。本授業は、グローバル化の歴史をたどることを一つの切り口としながら、この現象に関わる現代的な問題を考えることを狙いとします。本授業で注目するのは、世界に先駆けて近代社会となり、以後グローバル化の最初の推進力となったイギリスの歴史です。イギリスでは、こうした役割に伴って、早くからグローバル化の是非について多くの議論が積み重ねられてきました。そして現在イギリスでは、EU(ヨーロッパ連合)離脱をめぐる、なお激しい議論が続いています。イギリスの歩みは、グローバル化について考える上での豊富な材料を提供してくれます。本授業は次の二つの部分から構成されます。

- ① 授業担当者がグローバル化をテーマとして、イギリスの近現代史について概説する。またトランプ政権に至るアメリカの歴史についても触れる。
- ② 参加者の関心にもとづいて適当な書物を選び、輪読して議論を行う。

グローバル化から影響を受けてきた点では紀南地域も決して例外ではなく、むしろ独自の困難と新たな可能性の両方を与えられてきたとも言えるでしょう。地域の問題を考えるうえでは広い視点に立って考察することも必要であり、グローバル化を歴史的に捉えることが地域問題に対する何らかのヒントになることを願っています。

【授業計画】

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 イントロダクション | 2 ヘゲモニー国家イギリスの経済政策 |
| 3 イギリス産業の相対的衰退 | 4 イギリスを中心とした世界的貿易ネットワーク |
| 5 イギリスとインド植民地 | 6 イギリス国内の社会運動 |
| 7 イギリス金融立国への道 | 8 第一次世界大戦後のイギリス |
| 9 ケインズ主義と福祉国家体制 | 10 サッチャリズムとヨーロッパ統合 |
| 11 イギリスの歴史と日本の将来 | 12 イギリスの緊縮政策と総選挙 |
| 13 イギリスの国民投票 | 14 EU離脱の影響と交渉プロセス |
| 15 まとめ | |

【到達目標】

グローバル化の歴史を踏まえて、地域や社会の問題について考えることができる。

【教科書】

担当者の概説部分については、資料・レジュメを配布する。

書物については、受講者が確定した後、適当な時期に連絡する。今のところ次のものが候補である。

尾上修吾「Brexit「民衆の反逆」から見る英国のEU離脱」明石書店、2018年。

【参考書】

授業中に指示する。

【成績評価方法】

授業に対する参加の姿勢にもとづいて評価する。

【授業時間外学修】

本演習の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する調査・考察を含めて毎回の授業ごとに自主的な学習を求める。

【履修上の注意・メッセージ】

書物についての連絡を受けたら、授業開始までにじっくり読んでおいて下さい。

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	春夏秋冬の哲学 ～日本近代名作随筆講義～ (An Introduction to Japanese Philosophy : View of Nature)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	天野 雅郎		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月5日(土) 13:00～17:00	④ 1月11日(土) 13:00～17:00	
	② 11月16日(土) 13:00～17:00	⑤ 1月25日(土) 13:00～17:00	
	③ 12月7日(土) 13:00～17:00	⑥ 2月15日(土) 13:00～17:00	
【授業のねらい・概要】			
<p>哲学は難しい、という印象を多くの人が持っています。</p> <p>たしかに、哲学は難しく、ひよっとすると全ての学問の中で、もっとも難しい学問であるのかも知れません。が、それと同時に哲学は、いたって易しい、あらゆる人に開かれた学問(と言うよりも、学問以前の学問)であることも事実です。</p> <p>この授業では、そのような哲学の難しさと易しさを、あたかも「茶の湯」(=茶道)と「日常茶飯」の両面から、お茶を飲み、ご飯を食べるかのように、皆さんに伝えることが叶えば幸いです。</p> <p>テーマには、日本人の自然観と、その美意識を選んでみました。</p> <p>なぜなら、このテーマこそは日本人が、その生活においても人生においても、はなはだ日本的で、日本人らしくある、言ってみれば、日本の社会や文化の原点であるからです。</p> <p>この授業では、そのような日本人の日本人らしさや、逆に、むしろ昨今、失われてしまった感の強い、日本人の特徴的な、本来的な生活観や人生観を振り返り、これを皆さんと共に、見つめ直すことが出来れば、と願っています。</p>			
【授業計画】			
<p>春は曙、やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫立ちたる雲の細く棚引きたる……と、この名調子で始まる「枕草子」の冒頭を、きっと皆さんも、よく知っていらっしゃるに違いありません。</p> <p>日本人は昔から、このようにして春・夏・秋・冬(=四季)の、それぞれの美しさを、あるいは和歌や俳諧という形(→韻文)で、あるいは物語や随筆という形(→散文)で、さまざまに表現して、今に至ります。</p> <p>この授業では、そのような日本人の文学表現の中から、特に随筆(エッセー)を取り上げ、その魅力を近代以降の、明治から昭和へと至る名作群を通じて振り返りたい、と考えています。</p> <p>あわせて、この文学ジャンルの歴史や特質や、中国文学や西洋文学との違いについても、お話しをする予定です。</p>			
<p>第1回 「日本近代随筆選」(1: 出会いの時) 講読</p> <p>第2回 同上</p> <p>第3回 「日本近代随筆選」(2: 大地の声) 講読</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 「日本近代随筆選」(3: 思い出の扉) 講読</p> <p>第6回 同上</p>			
【到達目標】			
日本近代の名作随筆を読み、日本人の自然観と、その美意識を知る。			
【教科書】			
「日本近代随筆選」(1～3) 岩波文庫			
【参考書】			
適宜、紹介します。			
【授業時間外学修】			
毎回、テキストの所定の箇所を読んだ上で、授業に参加することが必要です。			
【履修上の注意・メッセージ】			
多くの皆さんの、ご参加を期待します。			

授業科目名 (英文表記)	地域暮らしの法律学C ～映画やTV番組を使って医療事故を考える～ (Legal Studies of community life C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月18日(金) 18:30～20:50	④ 11月9日(土) 10:00～16:00	
	② 10月19日(土) 10:00～16:00	⑤ 12月13日(金) 18:30～20:50	
	③ 11月8日(金) 18:30～20:50	⑥ 12月14日(土) 10:00～16:00	

【授業のねらい・概要】

どのような地域に暮らすにしても、さまざまな問題が発生します。好むと好まざるとにかかわらず、法律と関わりを持たないことはないでしょう。地域で暮らすために法律の知識は不可欠だと思います。しかし、法律は自分とは関係のない存在であるかのように考えられがちで、さらに、暗くて近寄りたくないというような悪いイメージさえ持たれることもあります。その原因として、法律用語の難解さ、法律学は無味乾燥であるというイメージ、法律解釈の理屈っぽさなどが考えられます。「地域暮らしの法律学」では、地域に存在する日常生活の種々の場面を具体的な例として取り上げて、可能な限り分かりやすく説明し、法律がどのように役に立っているか、そして、日常茶飯事でさえ法律抜きでは考えられないということなどを理解してもらうことを目標としています。その手段として、多くの映画やTV番組等を視聴してもらい、法律学の敷居の高さを少しでも低くする工夫を致します。「地域暮らしの法律学A」では、法律概論のように色々な内容にわたり、広く浅く講義しました。「地域暮らしの法律学B」では、テーマを絞って相続問題を講義します。「地域暮らしの法律学C」では、医療問題にスポットを当て講義します。

【授業計画】※あくまでも事前の計画であり、受講生の皆さんのご希望に添うように変更することも可能です。

金曜日の18:30～20:50、その翌日の土曜日10時～16時という授業時間パターンを3回繰り返します。そのため、そのような変則的な時間設定ですが、それを有効利用して、受講生の皆さんと相談の上、土曜に90分授業では不可能な映画視聴を組み込みたいと思っています。

第1回 ガイダンス

受講生の皆さんと十分に話し合いをして授業計画を再検討し、順番の変更・講義内容の一新化も可能です。

第2回 田宮二郎主演「白い巨塔」

山崎豊子原作の「白い巨塔」をドラマ化した田宮二郎主演のドラマ「白い巨塔」をご覧いただき、昭和40年代の医療事故について考えてもらいます。

第3回 民事紛争とその解決方法、とりわけ医療過誤訴訟

最高裁判所で取り上げられた医療事故を題材として、日本における医療事故の概要とその解決を考えてもらいます。

第4回 唐沢寿明主演「白い巨塔」

平成になってドラマ化された唐沢寿明主演の「白い巨塔」をご覧いただき、少し前の医療事故を考えてもらいます。

第5回 ドラマ・リーガルハイの医療事故訴訟

最近のドラマであるリーガル・ハイをご覧いただき、現代の医療事故を考えてもらいます。

第6回 米国の医療訴訟について映画を通して考える

ポール・ニューマン主演の米国映画「評決」における医療事故を検討してもらいます。

【到達目標】

バランス感覚を持って地域で生きていくことと、そのための法的スキルを獲得することの重要性を理解すること

【教科書】

特に定めません。山崎豊子「白い巨塔」(新潮文庫、全5巻)が有益です。

【参考書】

講義時に適宜、紹介します。

【成績評価方法】

学部生のみ、出席しての質疑応答、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学修】(学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。)

ネット・テレビ・新聞等で紹介される色々な医療事故について関心を持って目を通して下さい。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成します。ただ、もしも可能であれば、各自でわかりやすい法学入門書などを読んで前理解を深めるようにしておいて下さい。

授業科目名 (英文表記)	世界農業遺産 (Globally Important Agricultural Heritage Systems)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	養父 志乃夫、ゲスト講師		
開講	南紀熊野サテライト 他	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 12月7日(土) 13:00～17:00	③ 1月25日(土) 9:30～17:00	
	② 12月14日(土) 9:30～17:00	④ 2月1日(土) 9:00～16:00	

【授業のねらい・概要】

みなべ・田辺の梅システムが世界農業遺産に認定されたこともふまえ、世界農業遺産とは何か、当地の農業遺産のシステムと生態系の価値について、一般的な生態学の知見も交えながら、座学と現地生態系演習により習得する。地元世界農業遺産協議会の全面的な支援のもと、将来的な農業遺産のシステムを説明・活用できる人材を育成する。

本講義は「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」による寄附講座である。

【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。

第1回 (会場：田辺市新庄町ビッグ・ユウ)

1. 世界農業遺産と日本 (ゲスト講師) ビッグ・ユウ
2. みなべ田辺の梅システム (養父志乃夫) ビッグ・ユウ
3. 梅システムとニホンミツバチ (ゲスト講師 高橋純一氏) ビッグ・ユウ

第2回 (現地踏査：みなべ町うめ振興館、他)

4. 現地踏査 (養父志乃夫・ゲスト講師 紀州田辺観梅協会：梅システムマイスター) 梅林と薪炭林
5. 梅システムによって生産される料理の評価 (ゲスト講師 みなべ町梅料理研究会：岩本直子氏、他) みなべ町西本庄
6. 梅システムと行政 (ゲスト講師 原康雄氏) みなべ町うめ振興館
7. 梅システムの歴史 (ゲスト講師 本講座既受講生 梅システムマイスター) みなべ町うめ振興館

第3回 (演習先：みなべ町清川地区)

8. 梅の植物生理と育種 (ゲスト講師 野畑明弘氏)
9. 役場・協議会担当者による申請プロセス、合意形成、今後の展望の説明 (ゲスト講師 中早良太氏) 紀州備長炭振興館
10. 備長炭生産調査 (ゲスト講師 原正昭氏) 炭窯
11. 薪炭林持続性調査 (ゲスト講師 松本貢氏) 紀州備長炭振興館

第4回 (演習先：南部梅林、会場：みなべ町うめ振興館)

12. 観梅状況・ランドスケープ調査 (養父・ゲスト講師 本講座既受講生 梅システムマイスター) 南部梅林
13. 班別作業 みなべ町うめ振興館
14. まとめと発表 みなべ町うめ振興館
15. 梅システムの今後の展望、総括 みなべ町うめ振興館

【到達目標】

世界農業遺産の概念と梅システムの特徴について、社会生態学的観点から理解を深め、他者に対し現地で科学的・論理的に説明できるようになること。

【教科書】

特に定めません。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】

【梅システム申請書】など、以下よりダウンロード可能。必ず事前に確認・予習しておくこと。

<https://www.giahs-minabetanabe.jp/> 【関連報文】 <https://doi.org/10.2750/arp.35.379>

【履修上の注意・メッセージ】

多くの現場の方々を支えられたカリキュラムであり、受講者は極力全日程参加すること。

【履修する上で必要な事項】

受身にならず、積極的に議論に参加し、自己成長を希求すること。

みなべ田辺地域に関心を持ち、かつ客観的に梅システムを世界・日本の農業システムの中に位置づける熱意を有すること。

【受講を推奨する関連科目】

南紀熊野サテライトにおける紀伊半島・地域再生関連科目 ランドスケープ・エコロジー、緑地環境学など

【授業時間外学修についての指示】

本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の授業時間外学修が必要です。

【その他連絡事項】

PCやタブレットがあれば各自持参すること(必須ではない)

南紀熊野サテライト(和歌山県田辺市、ビッグ・ユウ)現地集合(時間厳守、南紀熊野サテライト往復の交通費は自己負担)

※行程の詳細については、都度ご連絡いたします。

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学 2 B ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study 2 B)			(新宮会場)
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義	
担当教員	此松 昌彦、海津 一郎、大橋 直義、平田 隆行、澤田 知樹、鈴木 裕範、ゲスト講師 (井出 明氏、恩田 雅和氏、小山 譽城氏、塩崎 誠氏、足立 直哉氏、西山 修司氏、他)			
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目	
実施日・時間	①	11月9日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト 井出明氏)
	②	11月16日(土) 13:00～17:00	非常勤講師	鈴木 裕範
	③	1月11日(土) 13:00～17:00	教育学部	海津一郎 (ゲスト 塩崎誠氏)
	④	2月1日(土) 13:00～17:00	教育学部	大橋直義 (ゲスト 小山譽城氏)
	⑤	2月8日(土) 13:00～17:00	観光学部	澤田知樹 (ゲスト 恩田雅和氏)
	⑥	2月15日(土) 13:00～17:00	システム工学部	平田隆行 (ゲスト 西山修司氏、足立直哉氏)
<p>【授業のねらい・概要】 「熊野郷土学 2 B」では、前回までに地域資源として自然、文化、歴史を学び、地域情報の発信や地域経営、環境保全と自然資源を活用した可能性を学んだ。では山や森、海川と寄り添って暮らしてきた地域が持つ生活史や環境から地域の人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのか、史上の人物に学び、更に今あるまちの魅力を活かした次世代のまちづくりのあり方を、持続可能な視点から考えます。学生、地域づくり関係者、観光関係者、地域ガイド、ジオ関係者、教育関係者、Uターン者等からの受講を期待しています。</p> <p>【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。</p> <p>第1回 「人々の暮らしと先人が遺した観光遺産を考える」～ガイダンス～ 教育学部 此松 昌彦 (ゲスト 井出 明氏) 和歌山県には自然災害、移民、政治弾圧等の悲劇の記憶が数多く存在している。本講では、それらを教訓として後世に伝える手法として、ダークツーリズムという考え方を紹介する。ダークツーリズムは、地域の影の記憶を観光によって学ぶ手法であり、世界的なムーブメントとなりつつある。具体的には、熊野の歴史、文化、自然景観、民俗等を取り上げ、ダークツーリズムの観点からまちづくりへの応用を考えるとともに、新たな観光資源としての開発を試みたい。</p> <p>第2回 「川上小白と香川綾 熊野文化とまちづくり」非常勤講師 鈴木 裕範 川上小白は江戸時代水野家茶頭として千家流茶道を広め江戸千家流祖となった大茶人。香川綾は日本の栄養学の道を切り開き文化功労章を受章した最初の女性科学者。2人に共通するキーワードは「伝統」と「江戸」(東京)。その行動と業績をキーワードに熊野文化を考え、まちづくりの可能性を探ります。</p> <p>第3回 「熊野の光と影ー紀伊半島モデルの衝撃ー」「徐福伝説が紀伊半島にもたらしたもの」「音無家文書からみる近世本宮のライフヒストリー」 教育学部 海津 一郎 (ゲスト 塩崎 誠氏) (前半: 海津)スケールの大きな徐福伝説や法燈国師物語(金山寺味噌・醤油・尺八等を招来)はなぜ生まれたのか。本宮町で文書調査した塩崎氏が真相に迫る。(後半: 塩崎)過去と現代における徐福伝説が熊野に与えた影響はどのようなものなのか、近世本宮において人々はどうの生活を送っていたのか様々なモデルケースから当時の熊野について考える。</p> <p>第4回 「熊野信仰と弘法大師・小栗判官伝説」(ゲスト 小山 譽城氏) 「熊野参詣人物志ー歴史と伝承のあいだ 花山院・平清盛・小栗判官ー」教育学部 大橋 直義 (前半: 小山)万人を受け入れた熊野信仰はどのように成立したのか。弘法大師と小栗判官の伝説をもとに考察し、あわせて蘇りを求めて熊野詣をした当時の人々の暮らしや信仰について考えたい。(後半: 大橋)熊野三山への道のりは、歴代の上皇や貴顕衆庶の実際の旅路であるとともに、多くの伝承・伝説が付着した想像の産物といってもよい側面がある。それを荒唐無稽と切って棄てるのではなく、往時の人びとが言語化・図像化した熊野信仰のありかたを花山院・平清盛・小栗判官の三人の物語から読み解いてゆきながら、熊野のイメージの変遷の歴史を考えてみる。</p> <p>第5回 「夏目漱石と大逆事件」観光学部 澤田 知樹 (ゲスト 恩田 雅和氏) ジャーナリズムが発達した明治時代には新聞や雑誌、書籍が多く発刊された。言論弾圧の中で大逆事件が当時どう捉えられていたのか。夏目漱石の小説や講演から事件当時の熊野での出来事や、その後の大正文化や現代に与えた影響を考える。</p> <p>第6回 「熊野の民家と西村伊作」「西村伊作自邸とチャップマン邸の保全改修」「貴重な建築物の保全活用」 システム工学部 平田 隆行 (ゲスト 足立 直哉氏、西山 修司氏) 新宮市内には建築家西村伊作が手掛けたチャップマン邸や、数々の大正建築や古い町並みが残っている。古い建築やそれらと暮らす人々から見る当時の価値観や民俗から熊野の魅力を考える。 ※現地実習: 最終回の午前中に新宮の街中散策フィールドワーク(西村伊作の建築物の視察等)を予定します。</p> <p>【到達目標】 熊野地域の振興について考え、自らのことばで語り、興味に基づいて自ら文献等を調べることができる。</p> <p>【教科書】 特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。</p> <p>【参考書】 「ダークツーリズム 悲しみの記憶を巡る旅」 幻冬舎新書 井出明 著、「ダークツーリズム 拡張ー近代の再構築」美術出版社 井出明 著、 「世界とつながる日本史」ミネルヴァ書房 村井章介監修 海津一郎・稲生淳 編著、 「わかやまを学ぶ: 紀州地域学 初歩の初歩」清文堂 東悦子・藤田和史 編</p> <p>【授業時間外学修】 紀伊半島の産業のニュースや地域での話題について整理しておいてください。復習と自主的な学習が必要です。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自で参考書等を読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が、地域の暮らしにどうつながるのかを考えてみてください。</p>				

〈気象警報発令時の授業の取扱いについて〉

田辺市・新宮市に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページ

<http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>を参照してください。

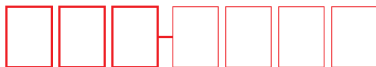
〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

郵便はがき

切手を貼付してください。

*10月より郵便料金が改訂されます。ご注意ください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和元年学部開放授業申請書類《後期》受付通知

【科目名】 春夏秋冬の哲学 世界農業遺産
 地域暮らしの法律学C 熊野郷土学2B

あなたの令和元年度後期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102
和歌山県立情報交流センターBig・u内
国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。